

● 30年後のビジョンキャッチコピー

つなげ、茅ヶ崎

● 上記の策定背景

人口減少・少子高齢化が進む中で、①魅力的で住みやすい街を目指すこと、②地域のつながりを強化し、支え合うことを促すこと、③高齢者の健康な身体づくりを支援することが急務である。

● 重点政策

① 駅と街をつなぐ

目的: 自転車の普及により交通渋滞を解消を目指す。

対象: 茅ヶ崎市民

期間: 現在～10年後

② 人と人をつなぐ

目的: 都市と都市や農家と消費者との交流を通して新たな文化を取り入れる。

対象: 茅ヶ崎市に縁のある人

期間: 10年後～20年後

③ 今と未来をつなぐ

目的: 高齢者に健康でいてもらい、若者とともに元気に過ごせる街を目指す。

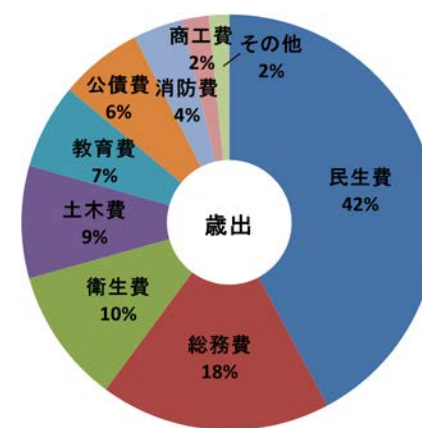
対象: 茅ヶ崎市民

期間: 10年後～30年後

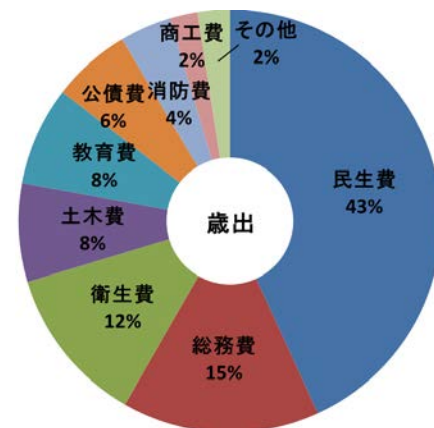
● 予算表

<歳入>

現在: 674億7千万円

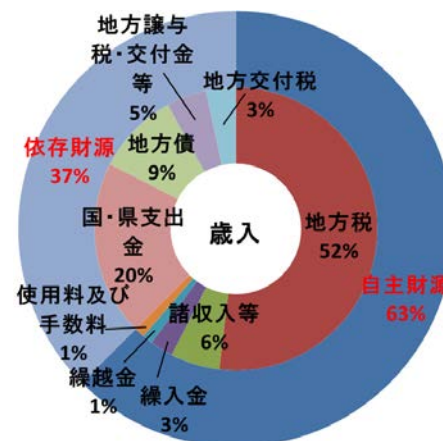


10年後: 662億3千万円

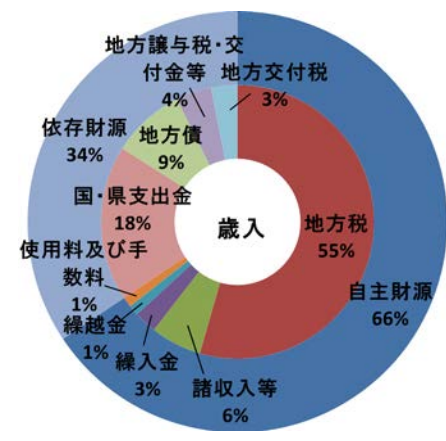


<歳出>

現在: 674億7千万円



10年後: 662億3千万円



未来自治体



● ビジョンキャッチコピー

つなげ、茅ヶ崎

———未来は不確実性に満ちている。

技術革新

新たなビジネス

グローバル化

IT化

———私たちの日常生活は、予想もできない変化を遂げているだろう。

——しかし、一つだけ確かなことがある。

——それは今後30年、

人口減少・少子高齢化
が続くということである。

- ・人口は現在の3分の2の規模まで減少
- ・人口の約4割が65歳以上という超高齢社会が到来
(経済財政諮問会議専門調査会「選択する未来」委員会より)

茅ヶ崎市においても、

- 人口は平成25年以降、減少傾向に

人口減少

H25: 237,065人 (実績値) → H32: 235,107人 (推計値) → H47: 231,803人 (推計値)

- 平成47年、15歳以上の高齢者に

少子高齢化

H26: 25.7% (実績値) → H32: 26.5% (推計値)

(茅ヶ崎市HPより)

<縮小スパイラル>

将来においても、ある程度の
規模で人口を保持する必要

財政の持続性の危機

課題①
魅力的で住み易い街を目指す

①魅力的で住みやすい街を目指す

図1 茅ヶ崎市から移り住みたいと考える理由(上位5項目)

調査時期	H19.11		H22.1	
	項目	%	項目	%
1	交通が不便	44.9	交通が不便	40.7
2	行政サービスに不満がある	24.1	行政サービスに不満がある	24.1
3	家の周りの住環境がよい	24.1	家の周りの住環境がよい	24.1
4	公共施設や介護・医療施設が不十分	24.1	公共施設や介護・医療施設が不十分	24.1
5	災害に対する不安が多い	18.5	災害に対する不安が多い	18.5
調査時期	項目	%	項目	%
1	災害に対する不安が多い	41	交通が不便	29.3
2	交通が不便	29	災害に対する不安が多い	25.3
3	行政サービスに不満がある	24	家の周りの住環境がよい	24
4	家の周りの住環境がよい	20	行政サービスに不満がある	21.3
5	公共施設や介護・医療施設が不十分	19	地域に愛着がない	20

駅と街をつなぐことで、
交通の便の悪さを解消する

(出典)「茅ヶ崎市のまちづくり市民満足度調査」

課題②

地域のつながりを強化し、
支え合うことを促す



課題③

高齢者の健康な身体づくりを
支援する

駅と街をつなぐ

対象者： 茅ヶ崎市民

目的： 自転車の普及により交通渋滞を解消を目指す

内容

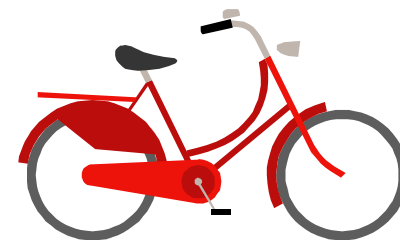
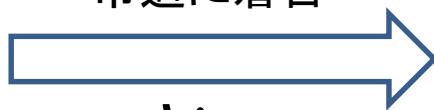
- 主要道の整備
 - 市道を中心にした整備
- 安全な道づくり
 - 自転車レーンの設置、舗装
- 駅と街を効率よくつなぐ
 - 駅と住宅の橋渡し





現状の茅ヶ崎市

市道に着目



自転車に適した街

そのためにはどうすべきか

快適な道

安全の確保

駅と住宅街
をつなぐ

自転車レーン市道での実施

- 市道での渋滞が多い
- 市道は住宅街の真ん中を通る



市民を駅から家までつなぐ道

整備が必要

自転車レーン導入例

デンマークの調査
(1997年)

交差点での衝突

38%減少

障害事故

71%減少



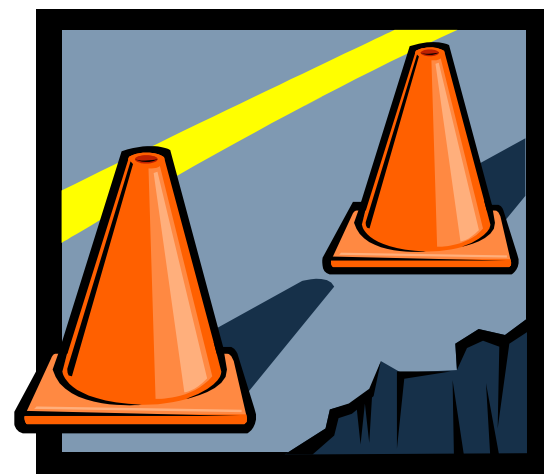
自転車探検 ホームページより

http://www.geocities.jp/jitensha_tanken/lane.html

利用者の快適性、安全性は確実に上がる

この政策にかかる期間と費用

- ・期間
2024年までに整備完了予定
- ・実施場所
試験的に404号線を中心とした市道
- ・費用
自転車ゾーンのラインにかかる費用
総事業費5億円(1km/ 1億円)
10年間の計画 → 年間5000万円



人と人をつなぐ

対象者： 茅ヶ崎市に縁のある人

目的： 都市と都市や農家と消費者との交流を通して
新たな文化を取り入れる

内容

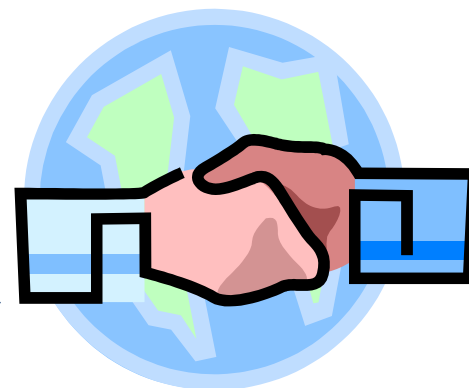
- 農家と消費者のつながり
 - 茅ヶ崎生産茅ヶ崎消費（茅産茅消）のつながり
- オランダ村の建設
 - 農家の呼び込み
- 都市と都市を結ぶ
 - 姉妹都市との交流





現状の茅ヶ崎市

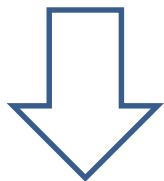
姉妹都市を
結んでいない



姉妹都市を結ぶべき

なぜオランダなのか

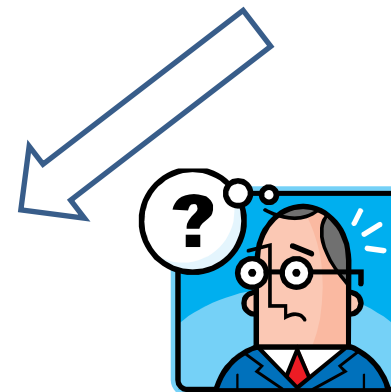
自転車の街である
自然が豊かである



茅ヶ崎市の見本の
都市である



オランダ



どこの国と？

私たちの目指す村

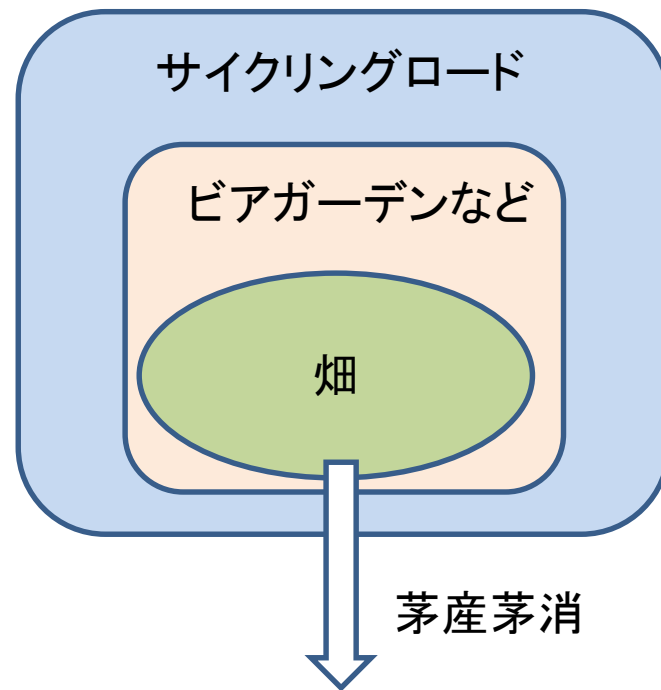


茅ヶ崎北部の土地を利用
自然豊かな地域をアピール

土地の
有効活用



オランダ村イメージ



茅産茅消

茅ヶ崎ブランドの促進

見込める効果

- 文化交流による人とのつながり
- 農家と消費者の信頼関係
- 農業従事者の増加
- 自転車への関心
- 観光客の増加

この政策にかかる期間と費用

- ・期間

2038年までに村の建設予定

- ・実施場所

北部の再開発

- ・費用

土地の買い取り 10億円

土地の整備 15億円

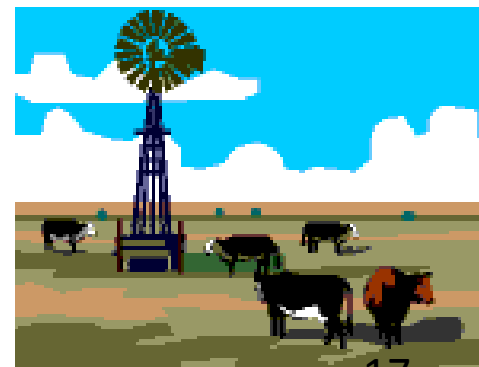
サイクリングロードの舗装等
(外周3km) 10億円

畑での農業支援(農家呼び込み) 3億円

(農家支援金) 2億円

その他 施設建設費 10億円

計 50億円



今と未来をつなぐ

対象者： 茅ヶ崎市民

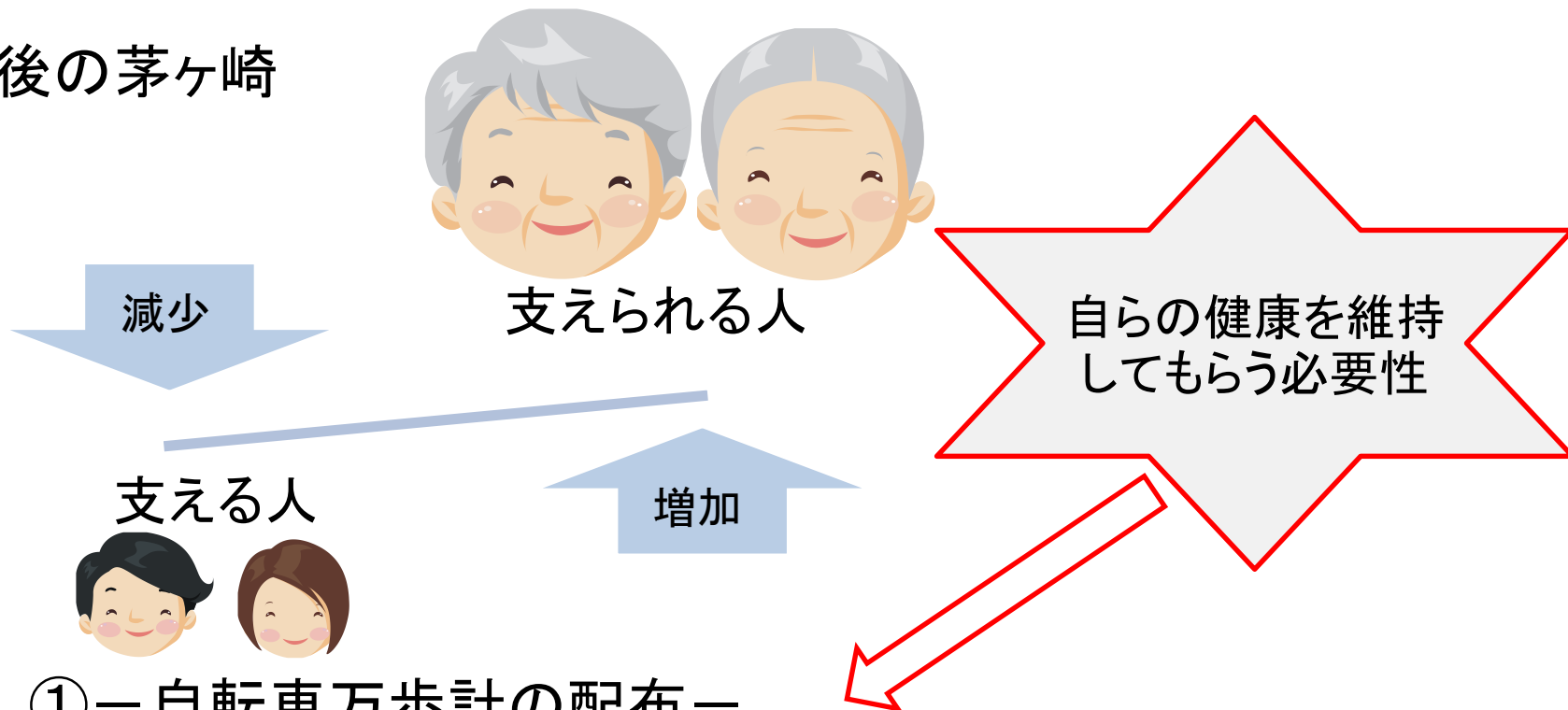
目的： 高齢者に健康でいてもらい、若者とともに
元気に過ごせる街を目指す

内容

- 万歩計の配布
 - 健康維持のための指標の計測のため
- 公園などでの体操
 - 健康について地域全体で考える
- 自転車によるイベント
 - 次の世代につなげる



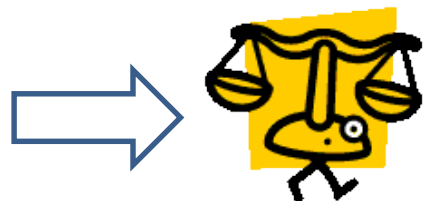
30年後の茅ヶ崎



①－自転車万歩計の配布－

英国心臓財団によると自転車を少なくとも1週間で30km以上走ることによって心臓病のリスクを半減

自転車探検より http://www.geocities.jp/jitensha_tanken/health.html



市民に**自転車専用の万歩計**を配布
(1日4km程度を目安に走ってもらう)

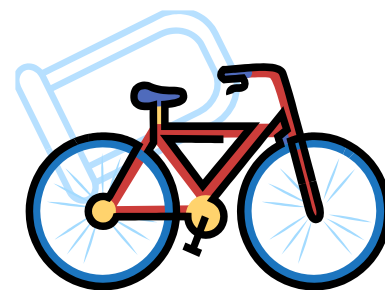
②ー公園などでの体操ー

- ・高齢者には体を動かす場が必要である
 - ・公園で行うことで地域とのつながりが強まる
- 例： 毎朝、公園でのラジオ体操



③ー自転車によるイベントー

- ・高齢者の方が主催
- ・高齢者が若い世代にも自転車の魅力を伝える
- ・自転車を通して未来にも健康を伝える
- ・自転車のレース(オランダの街と連携)
- ・最新自転車の試乗会など



この政策にかかる期間と費用

- ・期間

2044年までに実施予定

- ・実施場所

茅ヶ崎市民公園を中心とした広い場所

- ・費用

イベント実施費用	500万円
----------	-------

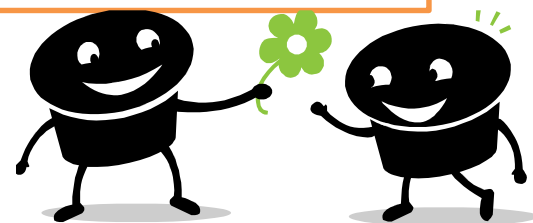
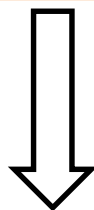
万歩計配布等費用 (3000円 × 60000人)	1億8000万円
------------------------------	----------

計	2億3000万円
---	----------

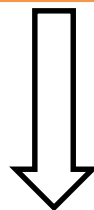


7 予算概要説明〈歳出／歳入〉

10年後日本の人口は減少の予測がある
(茅ヶ崎市は人口に大きな変化はない)



少子高齢化が進むことは確実であり高齢者は増える



現予算のままでは高齢者を支えられない

国からの補助金の減少
による新税の投入

高齢者支援と街の整備

8 予算説明：特記事項〈歳出〉

民生費の増加

高齢者増加に伴う補助



現状：59,057人
→10年後：63,783人

100万円の増加

土木費の増加

自転車道の整備

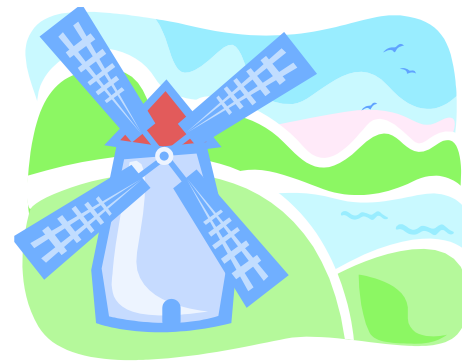


市道を中心に5km整備

5000万円の増加

予備費の増加

オランダ村建設
のための貯蓄



10年後を見据えた貯金

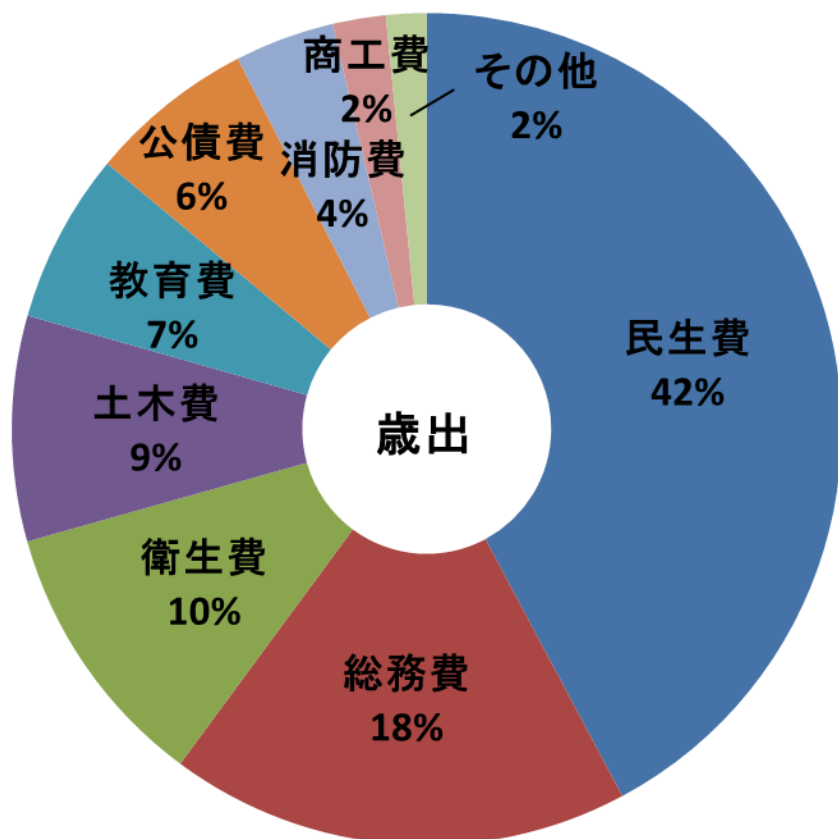
1億円の増加

8 予算説明: 予算表〈歳出〉

未来自治体

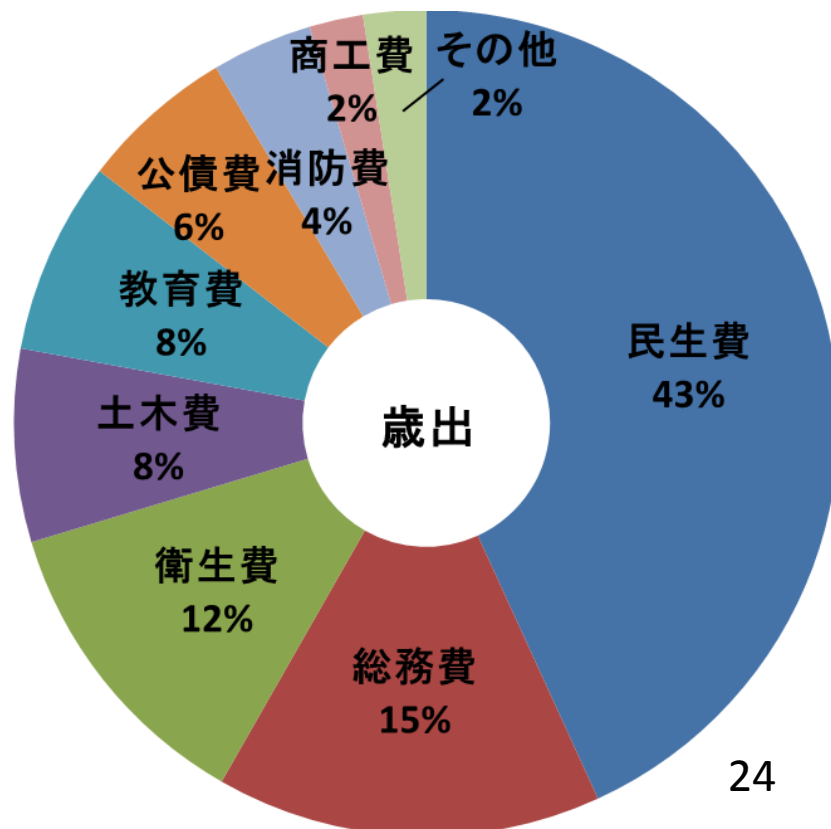
● 現在

¥67,470,000



● 10年後

¥66,227,008



9 予算説明：特記事項〈歳入〉

未来自治体

新税の投入

目的：自動車による交通渋滞の回避



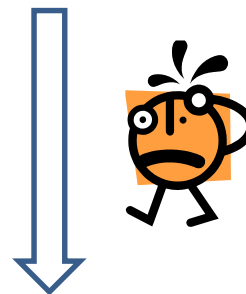
内容： 走行距離1kmあたり1.5円
茅ヶ崎市車保有台数約7万台
1台あたり年間5000km走行と想定

3億5千万円の税収

地方交付税の減少

背景：日本の人口減少

現在：12,730万人



10年後：11,500万人

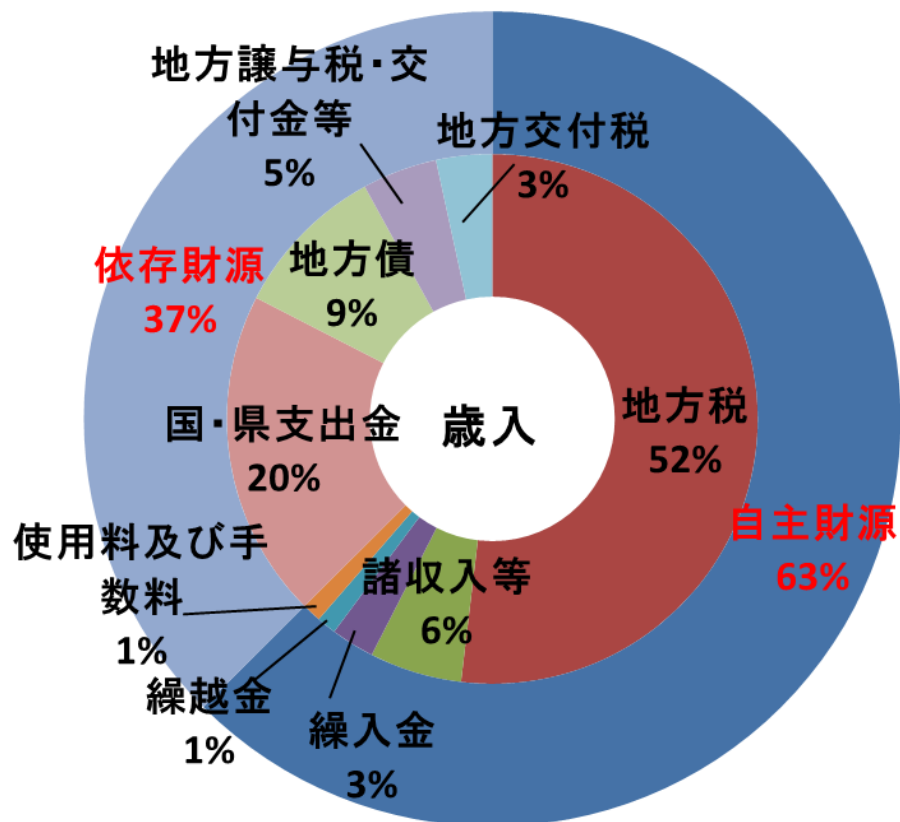
交付金の減少

2億3千万円の減少

9 予算説明: 予算表〈歳入〉

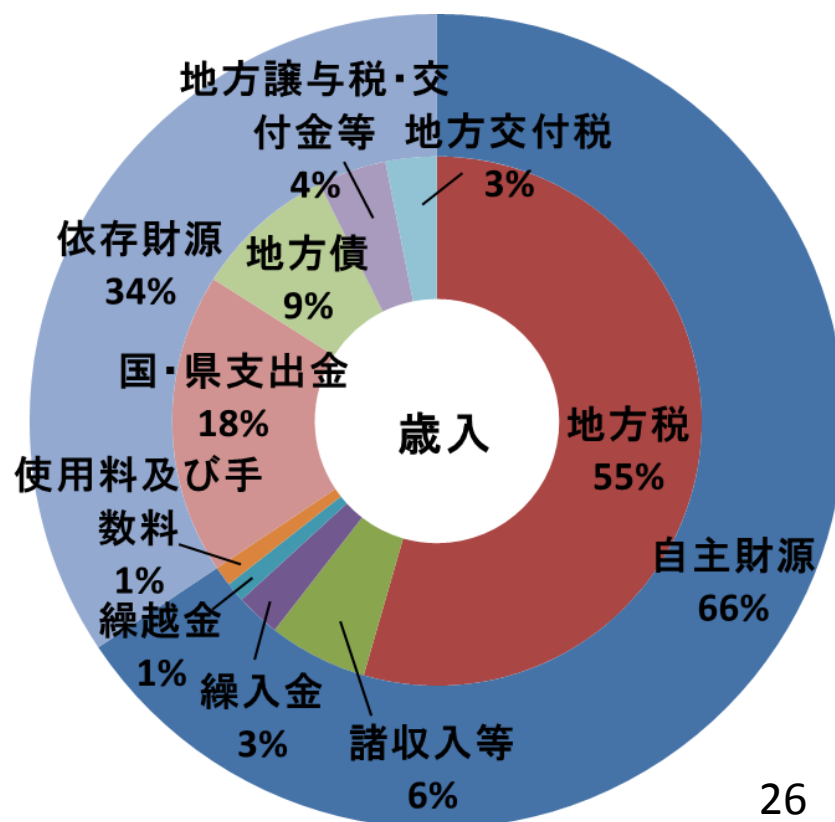
● 現在

¥67,470,000



● 10年後

¥66,227,008



課題① 魅力的で住みやすい街を目指す

重点政策1. 「駅」と「街」をつなぐ

課題② 地域のつながりを強化し、支え合うことを促す

重点政策2. 「人」と「人」をつなぐ

課題③ 高齢者の健康な身体づくりを支援する

重点政策3. 「今」と「未来」をつなぐ

「つなげ、茅ヶ崎」の実現